



# 明日をつくる

## 人間の純さ

校訓

・努力とする子ども (意)

・よく考える子ども (知)

・からだを鍛える子ども (体)

・仲よくする子ども (情)

一日のはじめに於いて

山村暮鳥

みる

太陽はいま世界のはてから上るところだ

此の朝霧の街と家々

この朝あけの鋭い光線

まず木々の梢のてっぺんからして

新鮮な意識をあたえる

みずみずしい空よ

からすがなき

すずめがなき

人々はかつきりと目ざめ

おきいで

そして言う

お早う

お早うと

よろこびと力に満ちてはつきりと

おお此の言葉は生きている

何という美しいことばであろう

此の言葉の中に人間の純さは

いまも残っている

此の言葉より人間の一日ははじまる

毎朝、昇降口で挨拶を交わし、1日をスタートさせています。「おはようございます。」と元気に返す子や会釈をする子がおり、心がホッとする瞬間です。もちろん、マスクをしているために小さい声になるのは仕方ありません。時々何かあったのか、涙ぐんでいる子どもがいます。そんな時には必ず高学年の寄り添う姿があって頼もしく思います。地域や保護者のみなさんにも挨拶運動でお世話になっています。先日は、地域の方から小学生が気持ちの良いあいさつをしてくれたと教えていただきました。



詩人・児童文学作家の山村暮鳥は詩「一日のはじめに於いて」に「お早うには人間の純さがある」と書いています。挨拶は人と人を繋げる美しい言葉であり、幼い頃こそ、抵抗なくさらりと沁みこむものです。家庭・学校・地域で挨拶のできる子を育てていきましょう。

一方で、暮鳥は詩「自分は今こそ言おう」には「人生はのろさにあれ 蝸牛のようであれ やすまず一生に二度と通らぬ道なのだから、つつしんでいこう」というメッセージを遺しました。

この言葉には「子育ても人生も一度限り。二度とない今を大切に歩もう。」という語りかけがあります。

無意識のうちに生活のスピードが上がり、決めるべきことや判断するべきことが増大してきました。便利で多忙で、ストレスも感じる時代に、暮鳥は何が大事なのかを教えてくれているような気がします。「のろのろでいいから、でもやすまずに 一生に二度と通らぬ道なのだから」、子どもの成長をじっくりと待つことと、待つことのできる環境づくりができるよう大人は心を整えていきたいものです。

# よく考える子ども

～社会科・国語科授業実践より～



## 4年生社会科「残したいもの 伝えたいもの」

4年生は、出雲市指定無形文化財「羽根盆踊り」を教材化しました。羽根盆踊り愛好会のみなさんには盆踊りの歴史を教えていただき、一度は途絶えた盆踊りが地域の力により伝承されるようになった経緯などを学びました。学習のまとめでは「二度と羽根盆踊りが途絶えないように盆踊りを覚えて受け継いでいこう。」「子どもだけでなく、高校生や若者の人も巻き込んで取り組むべきだ。」「他の地域の人にも羽根盆踊りの良さを伝えるといいよ。」「愛好会の方だけでなくコミセンや地域が協力して取り組むことが大事だ。」など子どもからたくさんの意見が出ました。さっそく4年生は羽根盆踊りを教えていただき、羽根盆踊りを通して真剣に社会との関わりを学ぶ姿は頼もしかったです。

## 5年生社会科「自動車をつくる工業」



5年生になると、全国に目を向けた教材を中心に学んでから、身近な地域に目を向けて学習をします。先日は、時代と共に変わってきた自家用車の写真を見ながら自分の家の車選びについて聞き取ったことを基に話し合いました。「農業の仕事ができる車が必要だ。」「家族の人数で買いたい車が違うよ。」「燃費や価格で決めるよ。」など消費者のニーズが浮き彫りになりました。この学習では生活に必要な自動車工業について学び、自動車生産の過程や優れた技術などに着目して工業生産に関わる人々の工夫や努力について考えます。まとめとして、地域にある富士通について学習し自動車工業と比較するなど思考を転化させます。

## 2年生国語科「動物のひみつをしらべよう～教材 ビーバーの大工事及び図書資料～」

低学年は、国語科を中心にして確かな読みの力や表現力を育てるよう取り組んでいます。2年生は、教材から動物の体の特長やその生態を関連付けて読み取り、それらを説明する文章を書きました。文章を読み取り、それをまとまりのある文章に書き換えるという情報活用力は、他教科でも生かされていき、文章と図を関連付けて読み取ることを可能にします。

文部科学省中央教育審議会答申では「低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いにある」と指摘されています。本校では、学校図書館活用教育や国語科指導の充実を図り、学力育成に努めていきます。



📖 日々の様子については、「[荘原小学校ブログ](#)」をご覧ください。